

強度行動障がい児者実態調査 (障がい者)結果概要

平成27年3月

大阪府福祉部障がい福祉室生活基盤推進課

調査概要

- 調査目的： 強度行動障がいの状態を示す障がい児者の状況に応じた効果的な支援方策を考えるための実態把握。
- 調査対象： 障害福祉サービス事業所の内、重複した回答を避けるため、施設入所支援、生活介護、就労移行支援、就労継続A型、就労継続B型、自立訓練(生活訓練、機能訓練)に絞り調査の対象とした。
- 調査内容：
 - (1)事業所票
 - ①全事業所：法人名、事業所名、事業所所在市町村、担当者、連絡先、該当サービス、定員、実利用者数、強度行動障がいの状態を示す方の有無
 - ②強度行動障がいの状態を示す方「有」と回答した事業所：強度行動障がいの状態を示す方の合計人数、男性・女性の人数、支援策有無、具体的な支援策の内容
 - (2)個人票(強度行動障がい判定基準10点以上)
性別、年齢、障害支援区分、利用者の住まい、他のサービス利用、受給者証に重度障害者支援加算Ⅱの記載有無(障害者入所施設利用の場合)、重度障害者支援加算Ⅱの算定有無、強度行動障がい判定基準表に基づく得点、支援に苦慮している点
- 調査期間： 平成26年9月24日から平成26年10月24日
- 調査方法： 調査票送付

1. 事業所票の回答状況

(1) 回答のあった事業所のサービス数

- 調査対象サービス数 1,730
- 回答サービス数 1,105 (回答率 63.9%)
- そのうち強度行動障がいの方を支援しているサービス数は、152となり、回答サービス数に占める割合は13.8%となる。
- また、強度行動障がいの方を支援している事業所数は115事業所となる。

回答のあった事業所のサービスの内訳

| 強度行動障がいの方がいない (強度行動障がいの判定基準10点以上 無) | | 強度行動障がいの方を支援している (強度行動障がいの判定基準10点以上 有) | |
|--|-----|---|-----|
| 施設入所支援 | 33 | 施設入所支援 | 31 |
| 生活介護 | 278 | 生活介護 | 108 |
| 就労移行支援 | 127 | | |
| 就労継続A型 | 84 | | |
| 就労継続B型 | 384 | 就労継続B型 | 13 |
| 自立訓練 | 47 | | |
| 合計 | 953 | | 152 |

※サービス種別でカウントしているため障がい者支援施設は、施設入所支援及び日中サービスのそれぞれに計上している。また多機能事業所も同様にサービス種別ごとに計上している。

(2) 強度行動障がいの状態を示す方を支援しているサービスごとの状況

○強度行動障がいの状態を示す方の総数は679名、性別は男性512名、女性167名。

サービス種別ごとの人数

| サービス種別 | | 強度行動障がいを示す方の人数 | | |
|-----------------------|--------|----------------|-----|-----|
| | | 男性 | 女性 | 小計 |
| 障がい者支援施設 | 施設入所支援 | 246 | 72 | 318 |
| 障がい福祉サービス (日中サービス) | 生活介護 | 256 | 89 | 345 |
| | 就労継続B型 | 10 | 6 | 16 |
| 小計 | | 512 | 167 | 679 |

障がい者支援施設を利用している方は318名、在宅、またはGHに居住し日中サービスを利用している方は361名(住まいの場が、障がい者支援施設以外で未記入の方4名を含む)になった。障がい者支援施設を利用している方も日中サービスは生活介護であるため、強度行動障がいの状態を示す方は日中サービスとして97.6%の方が生活介護を利用している。

(3)事業所で行われている強度行動障がいの状態を示す方への支援方法

○主な支援方法

- 個別支援(物理的構造化、視覚的構造化、その方にとって特別な支援)・個室対応を行っている:69事業所(59.5%)
- 1対1以上の人の配置を厚くすることで対応している:32事業所(27.6%)
- 事業所で研修や職員間の連携をとって支援にあたっている:42事業所(36.2%)
- 他機関との連携:20事業所(17.2%)

具体的な支援策

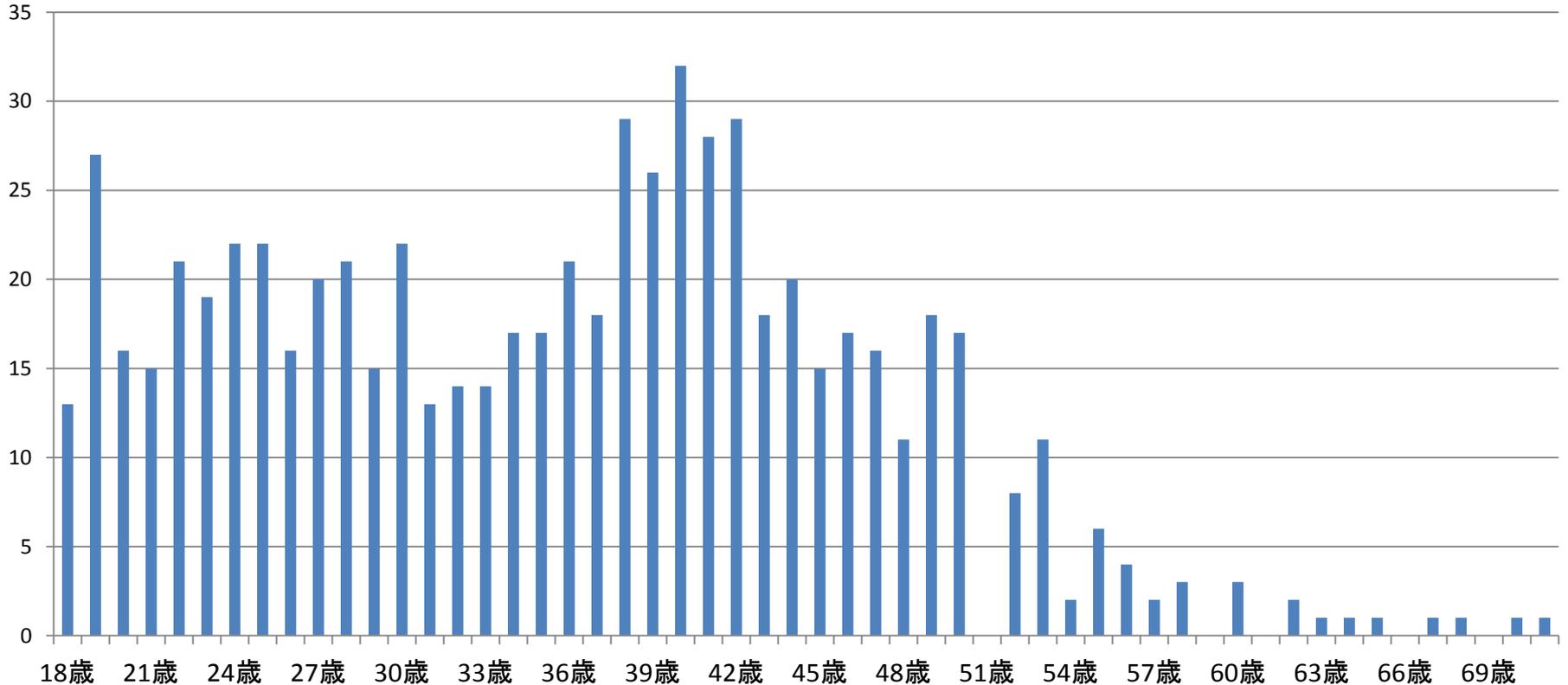
| ハード面 | ソフト面 | 他機関連携等 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">• 個別に専用の小部屋を用意• パニック時のクールダウン部屋を用意• 窓ガラス等に飛散防止フィルムを貼る• 飛出し防止のための門扉の設置• 自傷やけがの防止のため壁にマットを貼る | <ul style="list-style-type: none">• TEACCHプログラムを参考に支援• スケジュールの提示• ニーズに応じた活動内容を提供• 専属職員の配置• スヌーズレン• 臨床動作法 | <ul style="list-style-type: none">• 関係機関とのケース会議• 医療との連携(服薬調整、頓服薬の使用等)• 家族と協議(帰宅の在り方や服薬等)• 外部講師による研修 |

2. 個人票の回答状況

(1) 性別と年齢

性別は、男性512名、女性167名(男女比約3:1)

年齢は、平均年齢35.9歳、最低18歳、最高81歳であった。

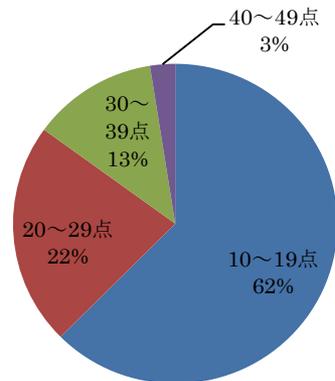


○年代別の強度行動障がいの得点

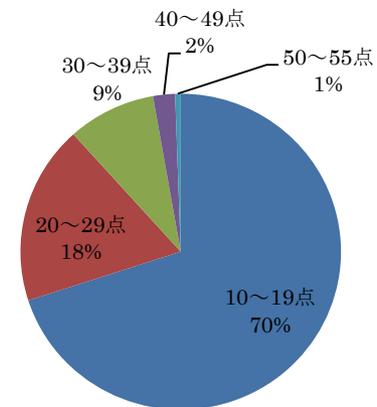
| 年代 得点 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以 上 | 計 |
|----------|------|-------|-------|-------|------|-----------|------|
| 10～19点 | 25 | 126 | 136 | 150 | 50 | 12 | 499 |
| 20～29点 | 9 | 33 | 41 | 33 | 11 | 0 | 127 |
| 30～39点 | 5 | 16 | 5 | 10 | 0 | 0 | 36 |
| 40～49点 | 1 | 4 | 7 | 3 | 1 | 0 | 16 |
| 50～55点 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | 40 | 180 | 189 | 196 | 62 | 12 | 679 |
| (割合) | 5.9% | 26.5% | 27.8% | 28.9% | 9.1% | 1.8% | 100% |

年齢別に得点をみると、年齢を重ねるごとに高い得点の割合が下がっている。

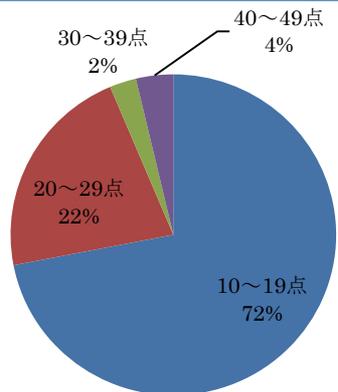
10代の強行得点



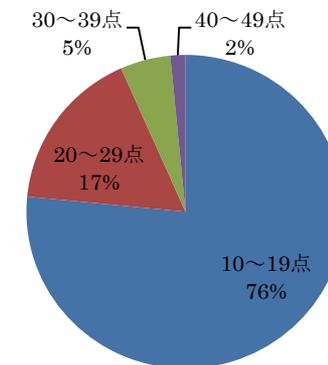
20代の強行得点



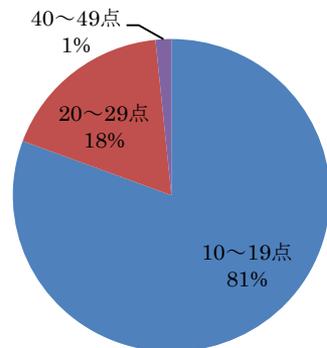
30代の強行得点



40代の強行得点



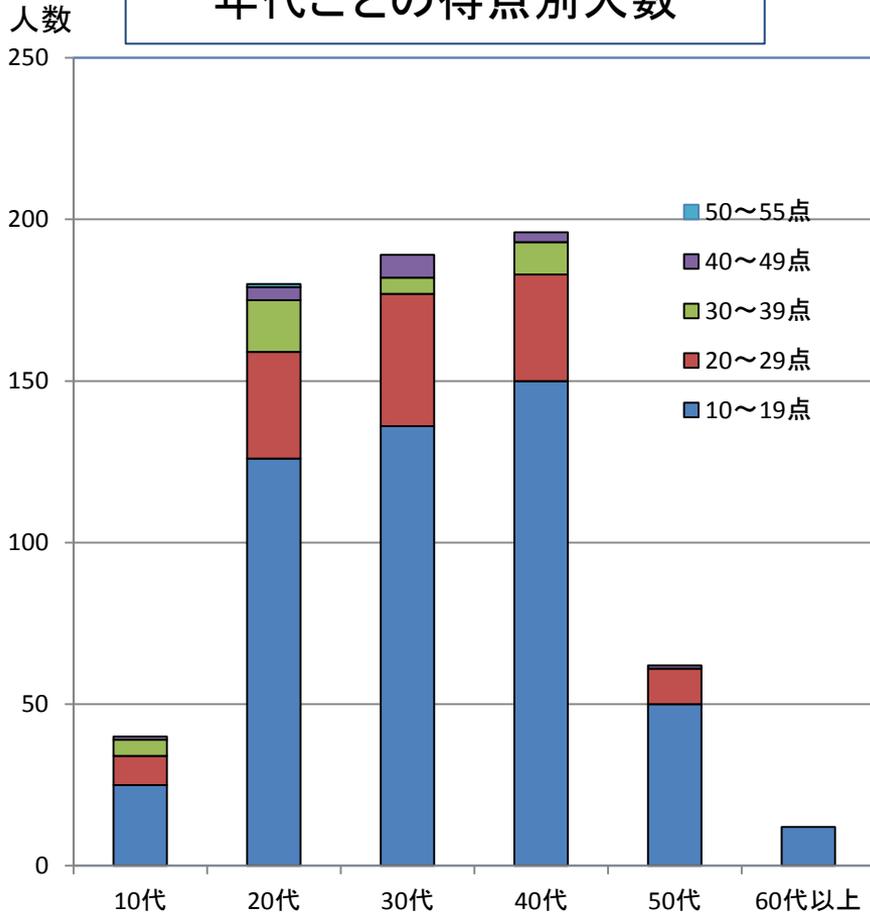
50代の強行得点



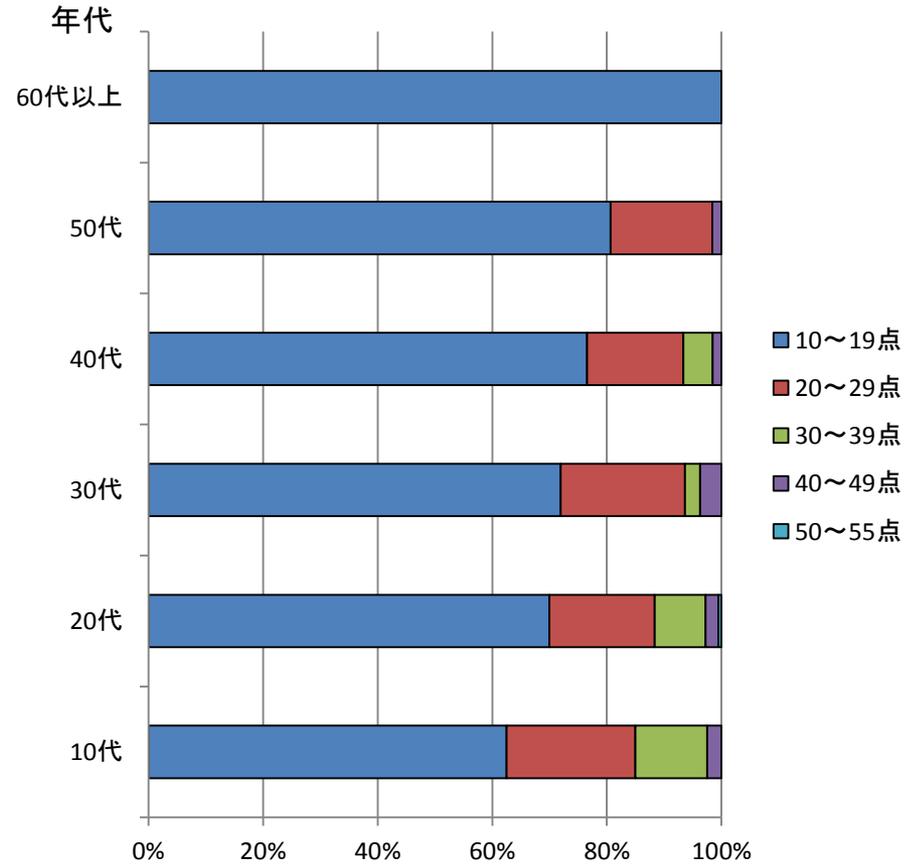
※60代以上は全員10~19点

年代別の強度行動障がい得点

年代ごとの得点別人数



年代ごとの得点別割合



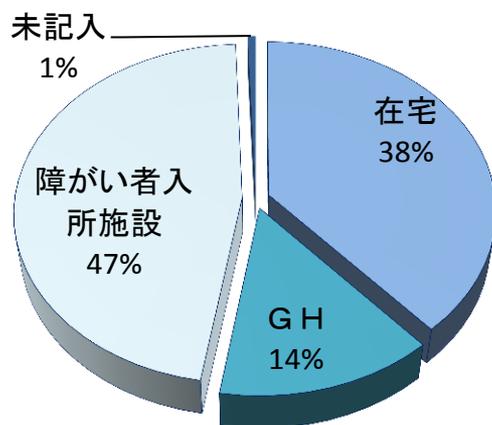
- 年齢では40代が最も多く、20代から40代の方が8割強を占めている。
- 得点と年齢との関係では、10代が20点以上の高い得点を示す方の割合が最も高く、年代があがるほど20点以上の方の割合が低くなっている。

(2)住まいの状況

強度行動障がいの状態を示す方の住まいの場は、在宅が261名、GHが96名、障がい者入所施設が318名であった。

※回答者は、日中サービス事業所、障がい者入所施設

| 住まいの場 | 在宅 | GH | 障がい者入所施設 | 未記入 | 計 |
|-------|-------|-------|----------|------|-----|
| 人数 | 261 | 96 | 318 | 4 | 679 |
| % | 38.4% | 14.1% | 46.8% | 0.6% | |



- 障がい者入所施設以外の在宅、GHで生活する方が半数以上を占めている。

(3) 他のサービス利用

在宅やGHで生活されている357名について、日中サービス以外で生活を支えるサービスを利用されている方を見ていくと、短期入所利用が116、行動援護利用が73、その他として居宅介護が20、移動支援が70、日中一時支援が13となった。

短期入所と移動系支援と居宅介護をすべて利用されている方は9名で、日中サービス以外で他のサービス利用がない方は154名となった。

<日中サービス＋他のサービスの利用状況>

(延べ数)

| 短期入所 | 行動援護 | 居宅介護 | 移動支援 | 日中一時支援 | 重度障がい者等包括支援 | 地域活動支援センター |
|------|------|------|------|--------|-------------|------------|
| 116 | 73 | 20 | 70 | 14 | 1 | 1 |

<日中サービス＋複数のサービスの組み合わせ状況>

| 短期入所＋移動系＋居宅介護 | 短期入所＋移動系 | 短期入所＋居宅介護 | 移動系＋居宅介護 | 短期入所 | 移動系 | 居宅介護 | 日中一時支援 | 他のサービス利用なし | 合計 |
|---------------|----------|-----------|----------|-------|-------|------|--------|------------|-----|
| 9 | 52 | 2 | 6 | 53 | 76 | 3 | 2 | 154 | 357 |
| 2.5% | 14.6% | 0.6% | 1.7% | 14.8% | 21.3% | 0.8% | 1.4% | 42.2% | |

※日中サービスに加え、短期入所や移動系、居宅介護サービスを利用している者のうち、日中一時支援を利用している者は12人、地域活動支援センターを利用している者は1人、重度障がい者等包括支援を利用している者は1人であった。

(4) 重度障がい者支援加算

障がい者入所施設利用中の方318名中、重度障がい者支援加算(Ⅱ)の算定を受けている方は136名(42.8%)であった。

(5)強度行動障がい判定基準表の報告状況

679名の得点状況として、平均得点17.14、項目として最も挙げられたのは「こだわり」で565人、最も少ないのは「排泄」220人であった。頻度の状況を見ると、パニック及び粗暴を除き、もっとも多く点数がつけられたのは「こだわり」で、最も少ないのは「騒がしさ」であった。

| | 1点 | 3点 | 5点 | 合計 | 平均得点(順位) | 基準表合計点数10点以上の者のうち該当する割合 |
|------|-----|-----|-----|-----|----------|-------------------------|
| 自傷 | 127 | 117 | 42 | 286 | 2.41(8) | 42.1% |
| 他傷 | 126 | 184 | 83 | 393 | 2.78(7) | 57.9% |
| こだわり | 64 | 157 | 344 | 565 | 3.99(1) | 83.2% |
| 器物損壊 | 92 | 103 | 78 | 273 | 2.90(6) | 40.2% |
| 睡眠 | 52 | 107 | 84 | 243 | 3.26(5) | 35.8% |
| 食事場面 | 82 | 79 | 124 | 285 | 3.29(4) | 42.0% |
| 排泄関係 | 33 | 57 | 130 | 220 | 3.88(2) | 32.4% |
| 多動 | 46 | 65 | 131 | 242 | 3.70(3) | 35.6% |
| 騒がしさ | 198 | 60 | 38 | 296 | 1.92(9) | 43.6% |
| パニック | | | 328 | 328 | — | 48.3% |
| 粗暴 | | | 225 | 225 | — | 33.1% |

※パニック及び粗暴の項目は、該当があれば5点と計算

行動障がいの内容別該当利用者数

